



上島町

議会だより

令和8年

9月号

Vol.84

主な内容

- ・ P 2 ～ 3 臨時議会、全員協議会
- ・ P 4 ～ 8 定例会一般質問
- ・ P 9 ～ 10 定例会議案審議
- ・ P 10 定例会審議結果
- ・ P 11 視察レポート
- ・ P 12 議会コラム、あとかぎ



上島町産業シリーズ⑦「養豚業」

上島町・岩城島で生産される「レモン果汁を搾ったかすを飼料に加えて育てられています。その排泄物は肥料として再び園地に還されます。循環農業の好事例であるとともに、その肉質が高い評価を得ています。

令和8年第2回 臨時議会

地方税法改正に伴う専決処分の承認2件（町税条例・国民健康保険税条例の改正）と、上島町第三者委員会設置条例、一般会計補正予算（第1号）を審議しました。

日時：令和8年4月20日
場所：弓削総合庁舎3階議場
出席議員：11名（欠席1名）

●第三者委員会設置条例

不適正な事務執行や行為等が発生した場合等に、その経過の客観的かつ公正な検証および再発防止のための提言を行う第三者委員会の設置について定めるものです。町が管理する先田名後一般廃棄物最終処分場において、容量を大幅に超過して埋め立てが行われていた事案発覚が契機となっています。

賛成多数で可決

主な質疑

【濱田和保・濱田高嘉】事務上の不適切な処理や管理不足で起きた事案で、役場内でも原因が概ね把握できているのでは。財政が厳しい中で2000万円をかけて外部に委託する必要があるのですか。町が自ら調査し結論を出すのが筋ではないか。

【町長】原因が明確でないからこそ第三者委員会を立ち上げます。これは犯人探しではなく原因の究明であり、旧町村時代からの長期間にわたる事案のため、

役場内だけの精査では不十分です。中立・公正な立場で検証してもらう必要があります、私自身にも管理監督責任があると認識しています。

【本田】専門家に委ねる以上、事実整理にとどまらない、改善に向かうための意見書に至るのだという文言が条例に示されるべきだと思いますが、どうですか。

【総務課長】委員の方々に報告書の作成をお願いし、皆さんへの公表もきつちります。委員会は事実関係の整理・原因分析・再発防止策の提言を行うもので、懲戒処分などを行うものではありません。委員は弁護士会の推薦を受けた5人以内で、調査期間は約6か月を見込んでいます。

●令和8年度一般会計補正予算（第1号）

新規事業として、第三者委員会設置事業を計上。先田名後一般廃棄物最終処分場の容量超過が判明したことにより、委員会

を設置し、必要な調査・審議を行うものです。

賛成多数で可決

主な質疑

【尾藤】約2000万円を使う以上、町民にどのような形で公表・報告されますか。

【総務課長】会議は非公開ですが、委員長と協議のうえ節目ごとに報告し、調査報告書は公表します。

【濱田和保】財政調整基金を取り崩す以上、基金の状況を町民に説明し、できる限り費用を抑えるべきでは。

【総務課長】2000万円は6か月を見込んだ金額で、調査は最小限の費用で行いたい考えです。基金は令和7年度当初で全体約17億6000万円、うち財政調整基金は約7億8000万円です。

（徳永貴久）

令和8年第3回 全員協議会

日時：令和8年6月11日
場所：弓削総合庁舎3階議場
出席議員：12名（全員出席）

〔報告事項〕

●上島町学校適正配置基本計画について

●第三セクター経営状況の報告について

・株式会社いきなスポレク
・株式会社いわぎ物産センター

〔協議事項〕

●6月定例会提出予定議案の概要説明について

●議案第44号 上島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

●議案第45号 令和8年度上島町一般会計補正予算（第2号）
●議案第46号、47号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

行政側より上記の件について定例会前の説明を受けました。その中で「上島町学校適正配置基本計画について」の概要と議員から出た質問を紹介します

■上島町学校適正配置基本計画

〈具体的な学校適正配置基本計画の内容〉

1 弓削小学校・生名小学校・岩城小学校

令和10年度に、3校を1校に統合し、弓削小学校の施設を活用します。

2 弓削中学校・岩城中学校

令和11年度に、2校を1校に統合し、弓削中学校の施設を活用します。

3 魚島小・中学校

離島留学制度（さざなみ留学）を活用し、小中一貫型学校として存続します。

学校統合に係る整備事項

下記の事柄について、学校統合準備委員会を中心に関係者が集まり、テーマ別に部会に分かれて検討を始めます。

「新学校の準備」校名や学校運営の詳細について、地域や保護者の意見を反映しながら調整します。

「学校環境の整備」通学バスの運行体制の充実、安全な乗降場所の確保、放課後の帰宅手段の検討など、ハード・ソフト両面から安全を確保します。

「教育内容の充実」少人数指導の良さを生かしつつ、探究学習や部活動の充実を図ります。また、小中連携を強化した9年間の教育課程を編成します。

「地域との連携維持」学校が地域の拠点としての役割を失わないよう、PTAや学校運営協議会等を通じて、地域住民の皆様が引き続き子供たちの成長を支える体制を強化します。

「児童生徒の心のケア」統合に

伴う不安やストレスを軽減するため、相談体制を充実させ、一人一人が安心して過ごせる環境を整備します。

主な質疑

【徳岡】学校の統合に関し、愛媛新聞に62%の子供たちが「統合を楽しみにしている」と載っていましたが、アンケートについて詳しく教えてください。

【学校教育課長】統合にあたり、実際に統合の対象となる児童に対し、「統合についての不安」「どういったことが楽しみなのか」等の状況を確認するためにアンケートを取らせていただいた。統合関係校の全児童を対象にアンケートを取りまとめたところ「とても楽しみ」「少し楽しみ」が合計62%、「少し不安」が27%という結果が出ました。この不安がどういったものなのか、ということを確認し、一つでも不安を解消できるよう今後取り組んでまいります。

（藤田徹也）

令和8年 6月定例会

日程：令和8年6月17日

場所：弓削総合庁舎3階議場

出席議員：12名（全員出席）

令和8年度上島町一般会計補正予算ほか4件の議案を審議。また提出された2件の請願については議員の意見が大きく割れ、1件が不採択、もう1件は採択となりました。各議員の賛否はP10をご覧ください。

【一般質問】

——藤田 徹也 議員——

①生活の安全・安心と行政サービスの質の確保について

——濱田 和保 議員——

- ①生名北立石グラウンドの利用実績は
- ②弓削海苔加工場完成後の初年度の実績は
- ③岩城先田名後ごみ処理の進捗状況は

——尾藤 俊輔 議員——

①人口減少時代における公共施設の整理・活用について

——濱田 高嘉 議員——

①「海苔共同加工施設」の事業費の増額について

※次ページ以降の一般質問原稿は議事録をもとに質問者自身が要約したもので、広報委員会では原文を尊重し大きく編集を加えていません。議事録は町ホームページに全文が掲載されています。

【議案審議、請願採択】

計5件の議案が審議されました。また請願「上島町学校適正配置計画の見直し及び住民合意形成手続きの確保を求める請願」と「一般廃棄物最終処分場に係る調査結果等の住民説明会開催を求める請願」については多数の討論ののち、採決が行われました。



生活の安全・安心と 行政サービスの質の 確保について



藤田 徹也 議員

【藤田】 上島町の令和6年度から令和8年度までの職員数の推移をみると、全体では16名減、消防部門においては9名減、その内訳は定年退職者1名、離職者8名、新規採用者なしとなっています。このような状況下で、火災対応・救急搬送・救助活動・火災予防査察・危険物規制など、消防業務の遂行に影響はないですか。また、消防職員の勤務体制及び出動体制に影響はありませんか。

【消防長】 消防業務遂行・出動体制に影響が発生しないよう人員配置を行い対処しています。救急出動については、必要な人員（救急隊員3名・救急艇船長1名・通信員1名）は確保できています。消防業務についても、消防防災課と消防署の担当枠を超え、消防本部全体で連携し出動体制を確保し業務遂行への影響が発生しないようにしています。

【藤田】 問題なのは、短期間にキャリアを積み上げてきた職員8名が離職され、その職員が保持していた技術力すべてが失われたこと。町へのダメージは計

り知れません。離職に関する本町独自の分析は行われたのでしょうか。そうであれば離職要因について、やめる職員側に問題があるという認識なのか、組織運営側に課題があるという認識なのか。具体的に何についていつ、だれが行ったのですか。

【消防長】 技術力の創出については、研修を行いながら努力しています。離職理由については、個別案件なので控えさせていたできます。

【藤田】 個人の特定ではなく組織傾向について問うています。本町における人材確保と人材育成は、町民の福祉の向上に直結する大きな課題です。現在、本町に求められているのは、職員が安定して働き続けることのできる職場環境づくりだと考えますが、このことについて理事者は、どのように認識し、今後、どのように取り組みますか。

【町長】 職員の働きやすい環境づくりは、私も心掛けています。現場の対応については、課長をはじめとする管理者がしっかりと見極めていかなければいけないと思っています。それでも不十分な点があれば、私が職員と協議をする形をとりたいと思います。



上島町消防本部



濱田 和保 議員

生名北立石グラウンドの利用実績は

【濱田】 1年前に「このグラウンドの整備は本当に必要なのか」の質問をして丸1年が経過しました、利用実績をお示しください。

【教育長】 町民1件の利用と町イベント時の駐車場の利用がありました。

【濱田】 昨年、町のなけなしの1000万円以上もの大金をかけ、1年間誰も利用しなかった空調付き休憩所という箱物まで整備したこと、この利用結果を踏まえて町民に納得のいく説明をお願いします。

【町長】 議会も同意いただいている案件です。実績としては正直少ないと判断しています。まだまだ営業が足りないと思う。

【濱田】 町にお金がなく、フェリーの75歳以上の通院補助や敬老会の景品など福祉関連の予算を削っている中、緊急性も必要性もなく、また誰も望んでいない箱物を作っていることが問題です。「上島町は財政状況が大変厳しい、だが財政指数は健全です。」という答弁は何度も聞きました、それならこの上島町は本当に必要なものにしかお金はかけられないはずで。この施策が本当に正しかったか説明をお願いします。

【町長】 これを整備するときに議会に説明した通りです。

弓削海苔加工場完成後の初年度の実績は

【濱田】 完成後初年度の海苔加工シーズンも終了し、生産量、販売量など実績が明らかに増えたと思います。この結果を見て現時点でどのように評価していますか。

【産業建設部長】 生産量、生産金額とも大変厳しい状況でした。海苔の養殖は温暖化等自然条件の影響を大きく受ける業態であるので単年度での評価はしません。

【濱田】 海苔事業者3、4軒のために1億6千万円もの大金を投入することは受益者の数からしても公平なのか。

【町長】 見解の相違だと思っています。町の産業、水産業にとって重要な施設であると思っています。

【濱田】 議員も町民に代わって町の施策が適正に行われているか経過を監視し、評価し、思わしくなければ批判をする立場にあります。町民の大切なお金を投入している訳ですから、その都度運営状況を公表願います。

岩城先田名後のごみ処理の進捗状況は

【濱田】 4月の臨時議会で議決した第3者委員会、ごみ処理の進捗状況は。

【健康福祉部長】 第3者委員会とはホームページで広く公表している通り、人選、日程調整中です。ごみ処理の状況はコンサル会社と施工について協議中です。

【濱田】 この廃棄物処理法違反問題は財政状況の厳しい上島町にとって、この先10年以上に渡って毎年4700万円もの財政負担を強いるという大変厳しい問題です。これにより住民サービスの低下、負担増し等が考えられます。この重たい荷物を町民に背負わせることになったことに対して責任者から一言お願いします。

【町長】 この件については町民の皆様に変な心配をかけております。私共もまだわからないところもあり、最終的には町長としてしっかり対応します。



尾藤 俊輔 議員

人口減少時代における 公共施設の整理・ 活用について

【尾藤】人口減少や少子高齢化が進む中、公共施設の維持管理に係る財政負担は今後ますます大きくなることが見込まれます。上島町公共施設等総合管理計画や上島町個別施設計画に基づく統廃合や集約化に加え、遊休施設や利用率の低い施設については、民間活用や企業誘致につなげる視点が重要と考えます。今後、公共施設をどのような方針で整理・活用していくのか、また、民間事業者から活用方法を

募るサウンディング調査を実施する考えがあるのか、お聞きします。

【町長】上島町公共施設等総合管理計画などの基本方針に基づき、長期的な視点で統廃合や長寿命化を進め、施設の最適化と財政負担の軽減・平準化に取り組みます。使用を終えた施設についても、民間活用を積極的に進めるとともに、解体に活用できる国の補助制度も研究しながら、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

【総務課長】公共施設あり方検討協議会は、令和3年度から5

年度にかけて協議を重ね、その結果を踏まえて各施設の再検討を行いました。直近では弓削斎場、潮湯を廃止し、来年度以降は保育所や教育施設などの統廃合を進めています。新たな協議会を開催する予定はありません。一方で、遊休施設の利活用については、企業誘致担当課と連携し、サウンディング調査など民間ニーズを把握する手法を検討してまいります。

【尾藤】遊休施設は企業誘致や雇用創出につながる「町の資産」として活用すべきです。一定の雇用創出や地域貢献を条件に、町有施設を賃料減免して貸し付けるなど、公共施設を企業誘致のインセンティブとして活用する考えについてお聞きます。

【観光戦略課長】公共施設を活用した企業誘致は有効な手法であり、現在の企業誘致制度とあわせて、今後の施策として検討してまいります。

【総務課長】遊休地を活用した民間事業では、税収確保や雇用創出につながった実績もあります。今後も地域活性化につながる活用を積極的に進めてまいります。

【尾藤】町有施設を活用した移住支援では、お試し住宅から実際の移住につながる成果も生まれています。この取り組みを企業誘致にも広げることが重要です。上島町には宅建業者がなく、事業者が進出したくても物件を見つけにくいという課題があります。だからこそ、町有施設を企業誘致の受け皿として活用することは、地域活性化や雇用創出につながります。「残すか廃止するか」だけでなく、「どう生かすか」という視点を持ち、民間のアイデアも取り入れながら、公共施設の有効活用に前向きに取り組んでいただくよう要望いたします。



濱田 高嘉 議員

「海苔共同加工施設」 の事業費の増額等について

【濱田】漁協弓削支所の「海苔共同加工施設」が、令和7年11月に弓削日比に完成し、今後は弓削支所の指導、監督の下に組織的・計画的に海苔養殖生産から海苔加工、販売まで一貫して取り仕切るメリットを生かした運営を期待します。さて、当初の「海苔共同加工施設」の整備事業費の内訳は、国の補助金約4億849万円（55%）と町の補助金約1億6710万円（22・5%）に加え漁協弓削支所の負担金

約1億6710万円（22・5%）、合計約7億4270万円（100%）で予算計上され、賛成多数で可決されました。しかし、完成時の漁協弓削支所の負担金だけが約3億2161万円と約1億5451万円増額になっています。増額に至った経緯と理由及び海苔共同加工施設の年間売上と維持管理費用等についても説明願います。（金額は税抜）

【産業建設部長】工事執行にあたり設計単価の見直しを行った際、昨今の建築資材や人件費等の高騰により、事業主体の漁協弓削支所の負担費用が増額に至りました。次に、施設の年間売上見込み、維持管理費等について

では、公開できません。

【濱田】国と町で約8割の補助金（5億7559万円）を漁協弓削支所に交付し、海苔共同加工施設の有効活用と地場産業の発展・活性化に寄与していると考えますが、事業実績や収支計算書等の提出なしでは議会・町民も納得も理解もできません。

【産業建設部長】漁協が事業実施主体であり、漁協の経営に関する数字については漁協の承諾なく、町が説明することは適当でないと考えます。ただ、町も補助金を出しており、令和7年から9年度の実績を踏まえて、令和10年度に評価を行い、公表します。

【濱田】この計画がスタートした時点から海苔養殖く海苔加工く販売等について、この事業の成功は非常に困難であると発言を繰り返してきました。国内の海苔生産のピークは1990年代で今から30年以上前であり、板海苔で言う年間100億枚を生産したものが、直近の5年

間平均が60億枚です。4割の減産の事実をどう捉え対応するのですか。

【町長】誰も生ぬるい気持ちで取組んでいる案件ではなく、特に漁業者は生死をかけて頑張っています。漁協弓削支部の努力を評価すべきで、足元をすくうのではなくて頑張れよと評価すべきです。最後に売上げに関しては、正直町は把握しておりませんが、こういった場で第三者が公表する数字ではないということとです。

【濱田】議場で説明しなくてどこですのですか。これまでの答弁の趣旨を平たく言うと、漁協弓削支所の問題であり、議会があれこれと関与・干渉をやめて、寛容な対応で見守ってほしいとしか聞こえません。この考えは大間違いです。最後に年度別の海苔共同加工施設の事業実績書、収支計算書、維持管理費等の提出を願って質問を終えます。

定例会議案審議

日時：令和8年6月17日
場所：弓削総合庁舎3階議場
出席議員：12名（全員出席）

議案審議

■上島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険財政の安定化と被保険者間の公平性を確保するため、愛媛県が令和11年度までに進める保険税水準の県内統一に向け、国民健康保険税率を見直すもの。今回の改正による影響額は、増額となる世帯が約48%、減額となる世帯が約52%で、全体では1世帯当たり年間約2200円の減額となる見込みです。

■上島町人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

本町の人権擁護委員の任期満了に伴い、候補者（左記）について議会の意見を求めるもの。

○東喜美子氏
○大本一明氏

■事業契約の締結について（弓削小学校屋内運動場空調設備等整備事業）

弓削小学校屋内運動場に空調設備と遮熱対策を一体的に整備するため、設計・施工・施工管理を一括して行う事業契約を締結するもの。児童の快適な教育環境を確保するとともに、災害時には避難所として安心して利用できる環境を整備することを目的としています。

○契約の目的

弓削小学校屋内運動場空調設備等整備事業

○契約の方法

随意契約

○契約金額

7931万円

○契約の相手方

山陰酸素工業株式会社

■令和8年度上島町一般会計補正予算（第2号）

一般会計を1800万円減額し、総額を68億6200万円とする補正予算。財源は、企業版ふるさと納税1000万円、前年度繰越金20万円、町債1580万円を充てる一方、財政調整基金繰入金を4400万円減額。

「新たに計上された主な事業」

○企業版ふるさと納税事業（1000万円）…弓削商船高等専門学校の支援を用途とする寄付があり、補助金を交付するもの。

○岩城診療所設備整備事業（698万5千円）…老朽化したレントゲン装置を更新。

○弓削学校給食センターボイラー更新工事（550万円）…平成8年度竣工時に導入したボイラーの故障に伴う更新。

	補正額	補正後累計額
一般会計	△1,800万円	68億6,200万円
特別会計	補正なし	35億1,400万円
企業会計	補正なし	10億1,388万7千円

請願審議

■上島町学校適正配置計画の見直し及び住民合意形成手続の確保を求める請願

学校適正配置基本計画について、住民への説明や合意形成が十分ではないとして、計画を一旦立ち止まって再検討するとともに、住民との双方方向の協議や意見募集、条例に基づく審議会の設置など、透明性・正当性を確保した手続を経て学校統合を進めることを求めるもの。

賛成討論

【濱田和保】町は手続きを踏んできたとしていますが、多くの住民が十分に納得しておらず、不信感が残っています。このまま進めれば地域の分断につながりかねません。統合そのものに反対ではありませんが、一度立ち止まり、審議会などを通じて丁寧な合意形成を行ってから進めるべきであると考えます。

反対討論

【徳岡】請願内容には賛同でき

る部分もありますが、統合準備委員会が既に始まり、各地区・PTA代表が協議を進めていきます。これまでの議論や努力を尊重すべきです。生名小学校の複式学級解消は急務であり、計画を振り出しに戻す時間的余裕はありません。

【徳永】住民へ通学の安全や教育環境について十分な説明を行うことは必要です。一方で学校統合の是非は、学校設置条例の改正時に、説明会や統合準備委員会での議論、住民の意見を踏まえて判断すべきです。

【宮畑】人口減少が進む中、子どもたちが多様な仲間と学び、成長できる教育環境を整えることが重要です。地域も時代の変化に対応しながら変わっていく必要があります。今は子どもたちにとってより良い学校づくりを目指すべきです。

■一般廃棄物最終処分場に係る調査結果等の住民説明会開催を求める請願

一般廃棄物最終処分場で埋立容量超過の状態が判明し、その

後も埋立てが継続されていたことを踏まえ、第三者委員会の調査状況や結果について住民説明会を開催し、事実関係や原因、再発防止策を説明するとともに、住民との質疑や継続的な情報公開を求めるもの。

賛成討論

【宮畑】住民には知る権利があり、行政は十分な情報公開を行う必要があることから、本請願に賛成します。一方で、住民説明会は情報提供の手段の一つであり、広報やホームページなど様々な方法を活用しながら、住民に分かりやすく情報を提供していくことが重要です。

反対討論

【徳岡】住民への説明は必要と考えます。しかし、中間報告段階での住民説明会は混乱を招くおそれがあり、説明は最終的な調査結果を踏まえて行うべきです。また、情報提供の方法は行政に委ねるべきだと考えるため、反対します。

（尾藤俊輔）

6月議会 議案審議結果

賛成：○ 反対：× 地方自治法第117条による退場者：－

議案名	議員名											審議結果
	尾藤俊輔	宮畑周平	本田志摩	徳岡誠	上村建太	濱田和保	徳永貴久	藤田徹也	亀井文男	濱田高嘉	藏谷重文	
議案第44号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全会一致 原案可決
議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
議案第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全会一致 適任
議案第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第48号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	賛成9人 原案可決
請願第4号	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×	
請願第5号	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○	賛成7人 採択

視察 レポート



子どもたちと町の未来を見据えた
義務教育期間の魅力化について

総務文教厚生委員会では他自治体の先行事例に学び、知見を深める取り組みを始めています。地域に根ざした特色教育プラン、9年間を通じたプレゼン力や英語力に特化した教育プランを実践するなど、学校から過疎地域の活性化に取り組む自治体を実際に訪れてきました。数回に分けてご報告します。

総務文教厚生委員会
委員 本田志摩

◇高知市立義務教育学校土佐山 学舎

高知市の北端、市中心部へのアクセスは車で20分ほど。自然



校舎内中央にある、各階をつなぐ
明るい吹き抜け

豊かな山間部に、特認校制度によって全校生徒130人ほどのうち半数以上の生徒が地域外から通学しています。16名までの少人数クラス制、1年生から積み上げる「使える英語」の取り組み、「土佐山学」による地域資源を活用した深求の時間など、他校にはない特色が県内外から選ばれている要因です。学舎は目指す「生徒像」、「教師像」、「学校像」を掲げ、加えて学校運営協議会と地域学校共同本部による一体的推進によって支えられ運営されています。

この日私たちは、給食後のラウンジに迎えていただき、早速子どもたちの歓迎を受けました。2年生1人ずつが英語の手作りカードを持って私たちそれぞれを回ってくれ、英語で自己紹介を受けました。たじたじの視察団をよそに、次は4年生の教室へ移動。今度は、子どもたちの推し地域行事の紹介を個別に受け、「ユズは好き？イチゴは好き？」など特産品のアピールに繋がってゆき、土佐山地域のほたる祭りや花火大会に熱く誘ってくれました。もちろん全て英語です。キラッキラの笑顔と「楽しかった!!」の声に送られ教室を後にしました。こうして年間30を超える団体の学舎視察を受け入れ、それさえも教育機会に汲み入れられます。

この学舎に通いたい家族のために町営住宅が用意されるなど、関係人口の創出に余念がないのはもちろん、地元住民の連携に「謝意をしつかりお返しする」好循環の心掛けをされており、「社会学一体教育に根差して」を実践されています。また全ての基盤は、インクルーシブを適える確かな人権教育であるとのこと。

校舎は災害時の避難所機能として太陽光パネルや蓄電池を備え、県道に面した校庭は10メートル程の擁壁で盛土拡張されており、建物内部は小学校基準仕様の3階建て。6・3制の前期課程までは制服はありません。後期課程の中学生が上層階を使用。校則も全員所属必須だった部活も自由な設定に変更。現在は英語部・バトミントン部が活動中です。



校長先生、教頭先生と。議員は8名が参加。

一般質問を「一問一答方式」に？

—— 議会で見直しを検討しています

議会では、一般質問をより分かりやすく実りあるものにするため、「一問一答方式」の導入と質問時間の制限について検討を始めました。町民の方から寄せられた「今の方式では質問と答弁がかみ合わず、間延びしてしまうのではないか」という声があきつかけです。

現在の一般質問は、再質問を3回までに制限する方式で行っています。しかし「最初の答弁を軸にやりとりが進み、質問の本質まで掘り下げにくい」「最後は要望で終わってしまいがち」といった課題が指摘されました。一問一答方式は、一つの質問に一つずつ答弁を受ける形で、論点がかみ合い、限られた時間で議論を深めやすいとされます。

協議していくことになりました。他の議会でも回数制限・時間制限など運用はさまざまであることから、これらを参考に上島町にふさわしい形を話し合っています。

(徳永貴久)



議員協議会での議論

○議会へのご連絡先

〒794-2592

愛媛県越智郡上島町弓削下弓削210

上島町議会事務局「議会広報委員会」

E-mail : gikai@town.kamijima.ehime.jp

令和8年9月議会の日程

—— 9月 ——

2日(水) 議会運営委員会	11日(金)、14日(月)、
4日(金) 全員協議会	15日(火) 予算決算委員会
9日(水) 定例会	17日(木) 定例会再開

編集後記

過日、本町議会議員による酒気帯び運転に対して執行猶予付き有罪判決が下され、議員辞職に至りました。報道等を通して議長から町民の皆様にお詫びのコメントがありました。ここでも改めて、議会の一員としてお詫び申し上げますとともに、法令遵守は当然のこと、議員一人ひとりが倫理意識をより一層高めていかなければと思います。新たにしております。

さて、前回選挙から2年が経過しようとしております。私も議員生活にある程度慣れ、やりがいのある毎日を送っておりますが、より良い町政に不可欠な「議会のレベルアップ」への改革はまだまだ途上だと感じております。議員が国内外の先進事例を自分の目ですっかりと学び、より賢くなり、政策集団として町政に提言できる。そのための土台を整備していくことが、町の明るい未来づくりにとても大切だと思っております。応援をよろしく願っています。

宮畑周平

○議会広報委員会

委員長 藤田徹也

副委員長 宮畑周平

委員 前田省二 徳永貴久

本田志摩 尾藤俊輔